

PJ ハンガー IWS-ETG10-2/ETG8-2/ETG7-6

(EPSON プロジェクター用)

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」は、本製品を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

**注 意**

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると
人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。

 すべての止めネジはしっかりと確実に固定してください。けがや破損の原因となります。

- ・ プロジェクターの設置は、専門の技術者にご依頼ください。正しく設置が行われないと、落下により怪我や事故の原因となります。
 - ・ 金具とプロジェクターの取り付け不備により、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。十分強度のあるワイヤーなどを使って落下防止処置を講じてください。
 - ・ 油煙が多い場所や溶剤、薬品が揮発している空間に設置しないでください。また、金具とプロジェクターとの固定部に、油、潤滑剤・洗剤・薬品などを付着させないでください。プロジェクターのケースが劣化、破損し、金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- ※詳細につきましてはプロジェクター本体の取扱説明書をご確認ください。

組立前に準備する工具

プラスドライバー

内容物

開梱時に必ず内容をご確認ください。

① PJ ハンガー	1 個
② PJ アーム	1 個
③ 配線おさえプレート	1 個
④ プロジェクター固定ネジ(M4 × 10 セムス P=3)	4 個
⑤ PJ ハンガー固定ノブ	2 個
⑥ スペーサー	4 個
⑦ スパナ	1 個
⑧ ケーブルホルダー(IWS-ETG10-2のみ)	2 個
⑨ PJ アームアタッチメント(IWS-ETG8-2のみ)	1 個
⑩ PJ アームアタッチメント固定ネジ(M4 × 10 セムス P=3)	2 個

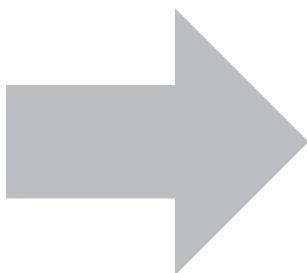
※本書のイラストは、IWS-ETG8-2を例に説明しています。

取り付ける PJ の機種を確認する

本製品はプロジェクターの機種によって取り付け方法が異なります。取り付け方法が誤っていると、投影画面の調整ができません。下記をご確認いただき正しく取り付けてください。

WXGA

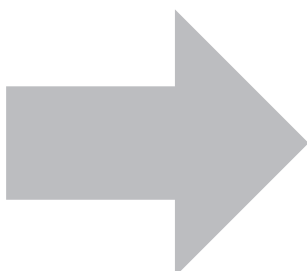
EB-685W
EB-685WT
EB-695WT



3 ページ～ 9 ページを
ご覧ください

LE

EB-1485FT



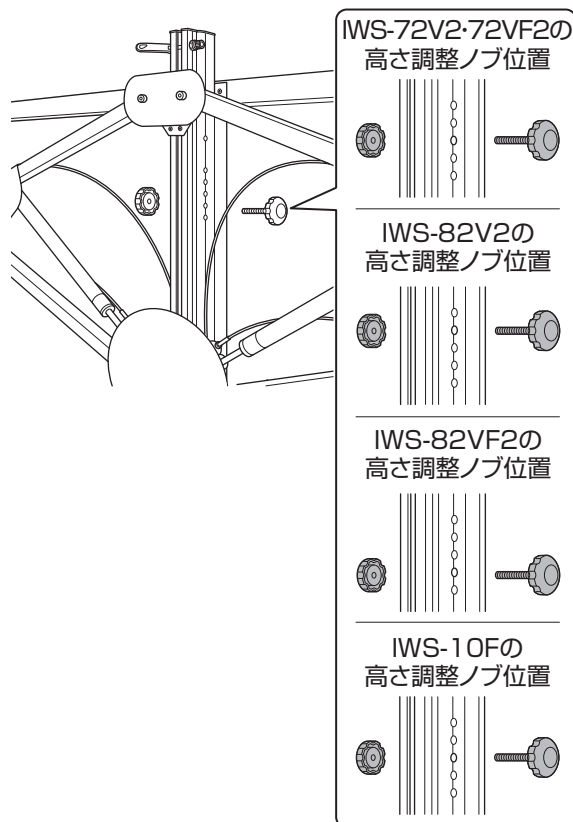
10 ページ～ 16 ページを
ご覧ください

PJ ハンガーをセットする

スクリーン本体のPJアームの高さを設定する

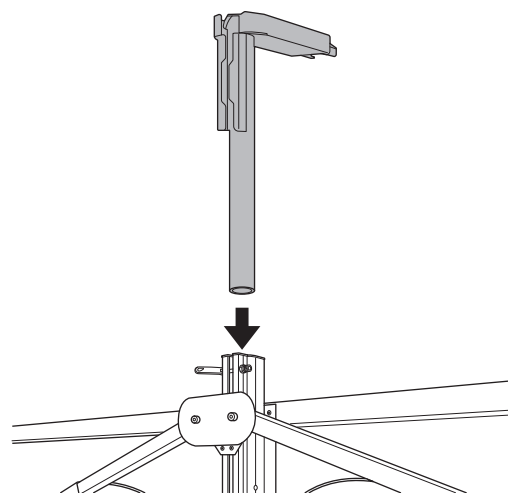
1. PJアームの高さ調整ノブを差し込み、しっかりと確実に固定します。

- ・ IWS-72V2、72VF2は上から4つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ IWS-82V2は上から3つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ IWS-82VF2は上から5つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ IWS-10F は上から4つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ 最上段と2つ目の穴の間は少し間隔が空いています。



2. PJアームを本体に差し込みます。

- ・ PJハンガーの差し込み口が正面を向くようにセットしてください。

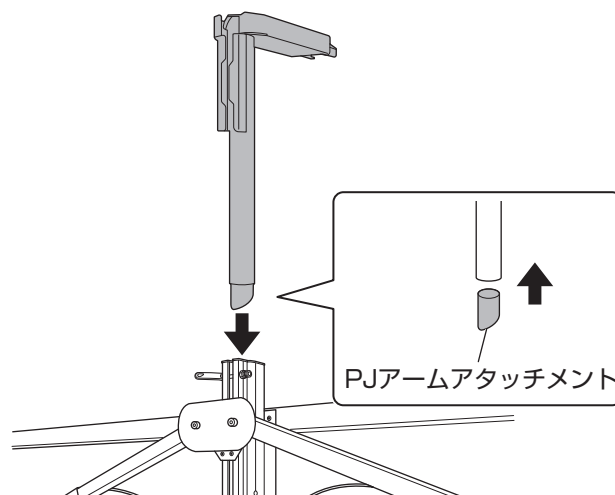


※IWS-82VF2は、PJ アーム先端に PJ アームアタッチメントを取り付けてから PJ アームを差し込んでください。

⑨ PJ アームアタッチメント×1 個使用

⑩ PJ アームアタッチメント固定ネジ(M4 × 10 セムス P=3)×2 個使用

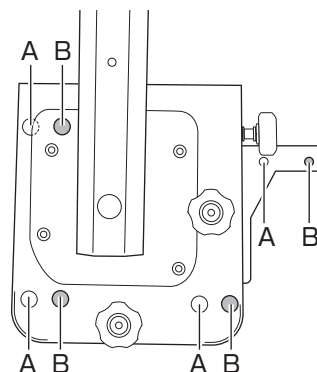
※IWS-72VF2は、PJ アームを本体に差し込む前にスロープの取り付けが必要です。詳しくは「IWS-SR スロープ取付手順書」を参照してください。



PJ ハンガーを取り付ける

PJ ハンガーを取り付ける前に…

WXGA プロジェクターの取り付けに使用する PJ ハンガーの取り付け穴は、右記イラストの B 位置の 4 か所です。取り付け穴が誤っていると、投影画面の調整に影響を及ぼします。正しく取り付けてください。

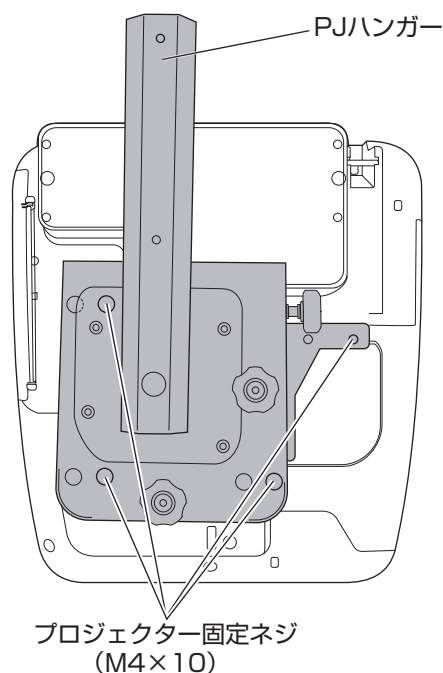


1. PJ ハンガーをイラストのようにセットします。プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、4 か所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

④ プロジェクター固定ネジ(M4 × 10 セムス P=3)×4 個使用

- ・ プロジェクター本体や、作業台にキズが付かないよう注意してください。
- ・ 固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認してください。
- ・ PJ ハンガーを分解しないでください。
- ・ 先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

※ プロジェクター固定ネジのネジ穴には多少あそびがあるため、PJ ハンガーとプロジェクターが直角になるように取り付けてください。

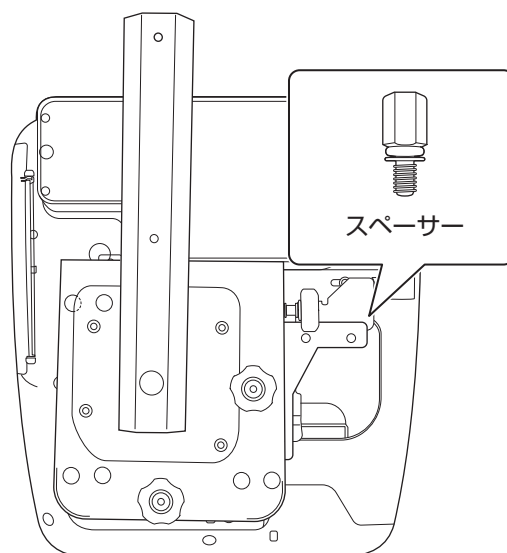


画像位置を上下に調整するときは…

PJ ハンガーとプロジェクターの間に、スペーサーを4か所取り付けてください。

⑥ スペーサー×4個使用

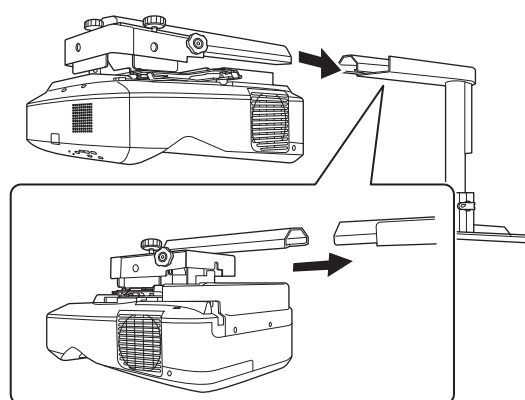
※スペーサー使用の有無については、画像微調整チャート（9 ページ）を確認してください。



PJ ハンガーを PJ アームに取り付ける

1. プロジェクターを取り付けた PJ ハンガーを PJ アームに差し込みます。

・ プロジェクターの前後を確認してください。

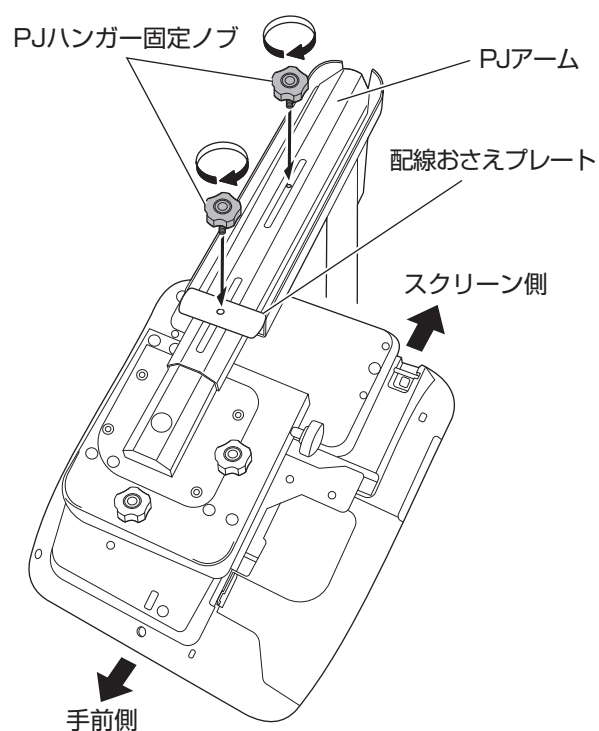


2. PJ アームのネジ穴に、PJ ハンガー固定ノブを差し込んで締めます。

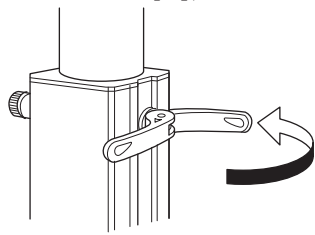
⑤ PJ ハンガー固定ノブ×2個使用

・ 配線おさえプレートを共締めしてください。

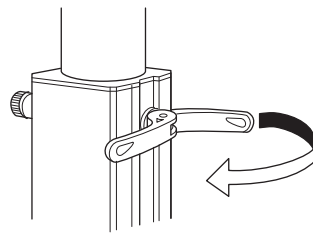
③ 配線おさえプレート×1 個使用



PJ アーム固定レバーを緩める／締める



PJ アーム固定レバーを起こして緩める

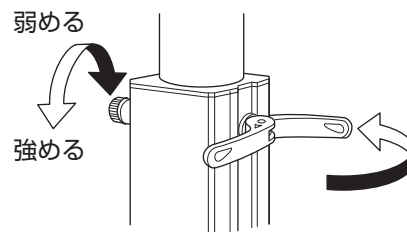


PJ アーム固定レバーを倒して締める

PJ アームの固定力が弱いとき…

PJ アーム固定レバーを起こした状態で、ナットをイラストの向きに廻して固定力を調整してください。

※ナットの締めすぎにご注意ください。レバー破損の原因となります。



投影画面を調整する

プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影し画面を調整します。プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

参照 詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

注記 画面を調整する前に、プロジェクターを左右に振らないでください。プロジェクターとスクリーンボードが接触し、破損の原因になります。

投影画面の調整には、解像度に影響が出る可能性がありますのでプロジェクターのデジタル補正機能を極力使用しないことをおすすめします。

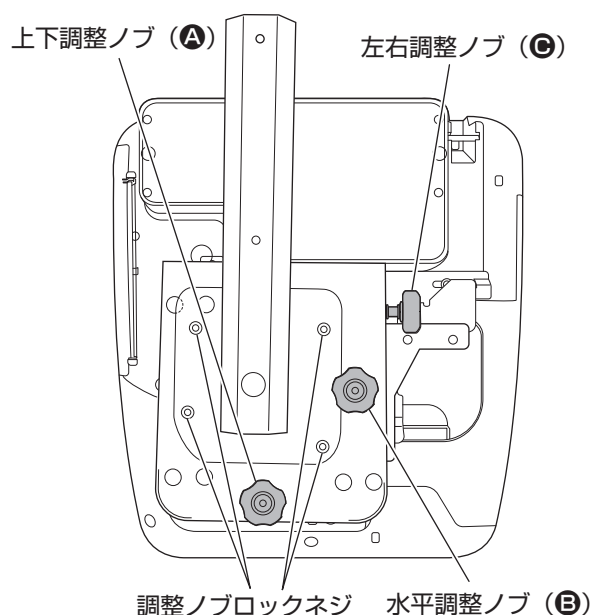
調整前の準備：画像を投影する

1. プロジェクターの電源を ON にします。

2. 画像を投影します。

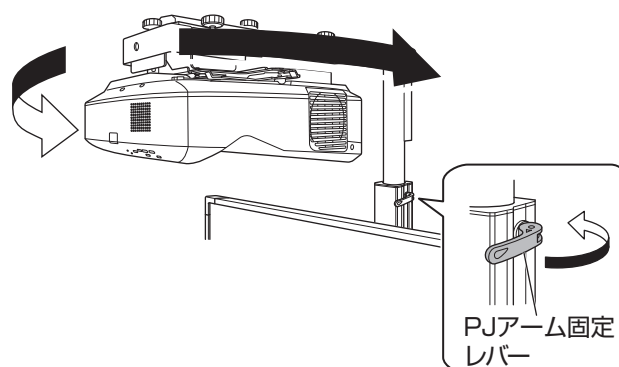
3. 調整ノブブロックネジ4本を緩めます。

- ・調整ノブブロックネジは、手で回せる程度まで緩めてください。



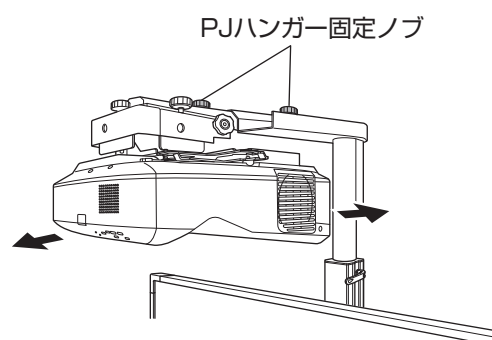
プロジェクター位置の調整（左右）

1. PJ アーム固定レバーを緩め、PJ アームをスクリーンに対して水平方向に動かしてプロジェクターがスクリーンに対して 90 度の位置になるよう調整します。
2. PJ アーム固定レバーを締めます。
 - ・ PJ アーム固定レバーを締めるときは、PJ アームが回転しないよう手で押さえてください。



プロジェクター位置の調整（前後）

1. PJ ハンガー固定ノブを緩め、PJ ハンガーを前後にスライドさせてプロジェクターと投影画面の距離を調整します。
2. PJ アームのスリットを中心付近に合わせて PJ ハンガー固定ノブを締めます。



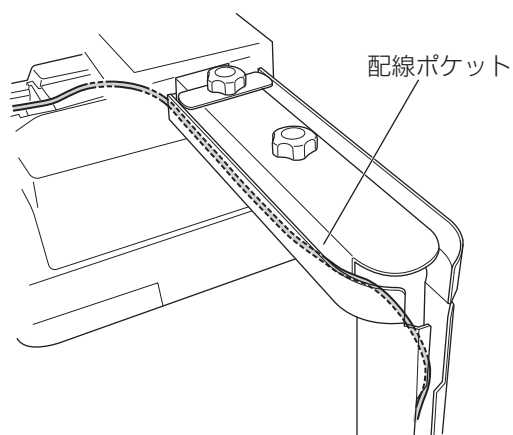
プロジェクター位置を固定する

1. 調整ノブロックネジを締めます。

ケーブルを整理する

1. ケーブルは、PJアームの配線ポケットにはわせて整理します。

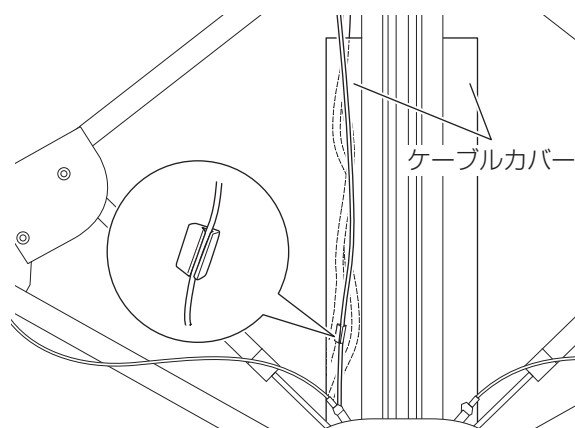
◆注記 パンタグラフにケーブルが干渉しないように整理してください。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。



〔ETG8-2/ETG7-6のみ〕

2. スクリーンボード背面のケーブルカバーのネジ2本を外し、各ケーブルを収納します。
3. ケーブルカバーのクリップに操作ワイヤーを通し、ネジを取り付けます。

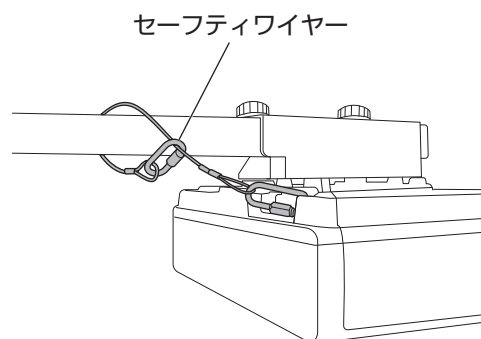
◆注記 ケーブルカバー内には無理にケーブルを収納しないでください。スクリーンボード背面が押され、投影画面がゆがむ原因となります。



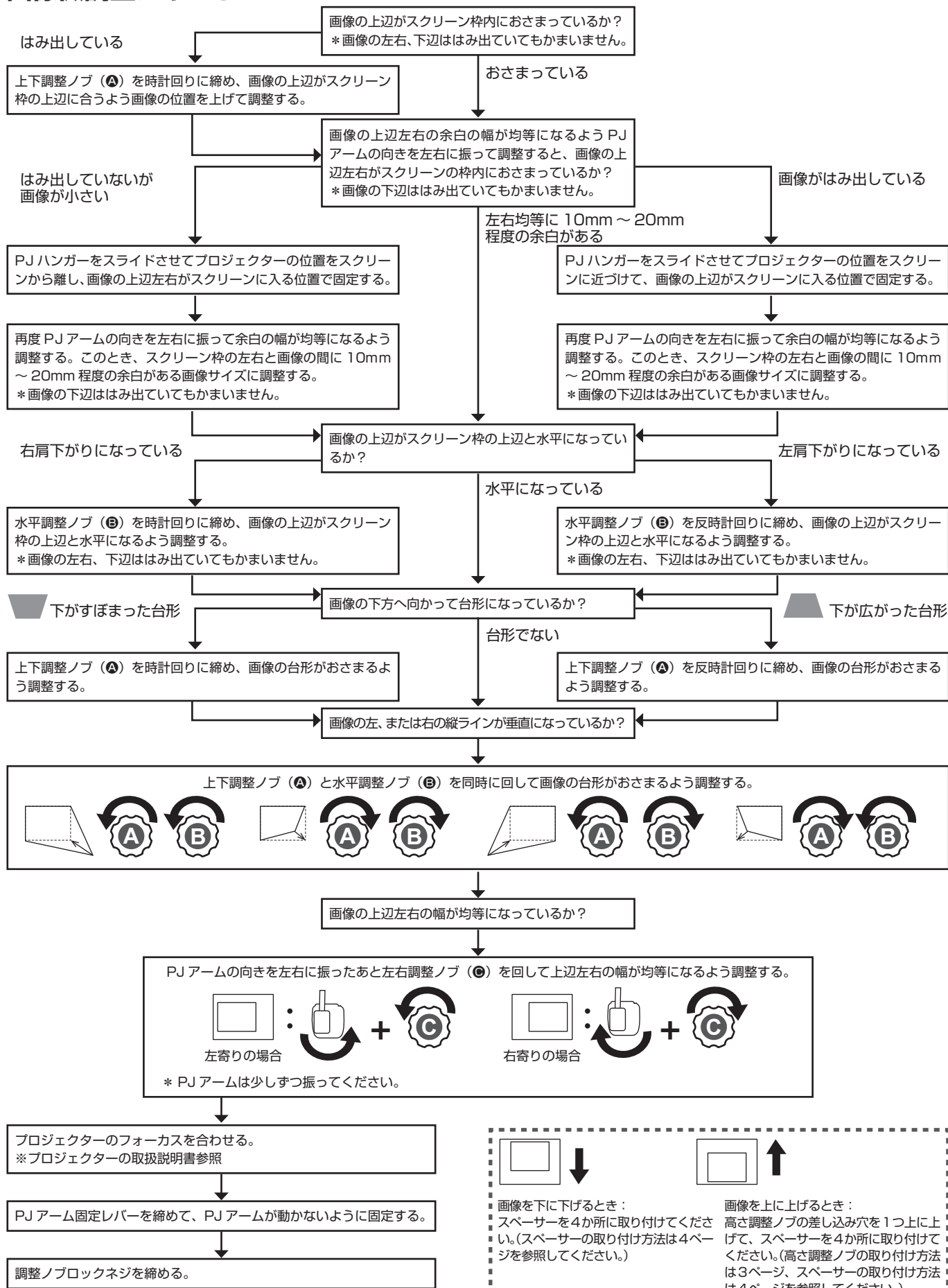
※IWS-ETG10-2 は、付属品のケーブルホルダーを使用してケーブルを整理してください。

セーフティワイヤーを取り付ける

1. セーフティワイヤーを取り付けるときは、PJアームに巻き付けて固定します。



画像微調整チャート



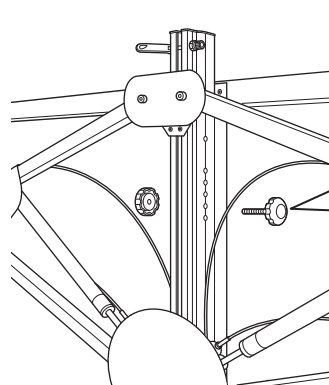
PJ ハンガーをセットする

スクリーン本体のPJアームの高さを設定する

1. PJアームの高さ調整ノブを差し込み、しっかりと確実に固定します。

〔16：9で映像を投影するとき〕

- ・ IWS-72V2、72VF2 は上から3つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ IWS-82V2、82VF2 は上から4つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ IWS-10F は上から4つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ 最上段と2つ目の穴の間は少し間隔が空いています。



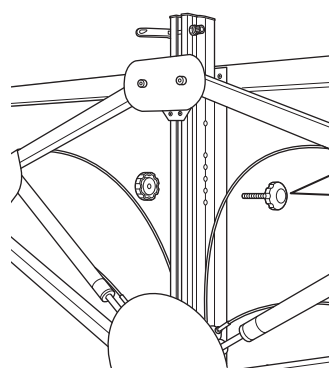
IWS-72V2・72VF2の
高さ調整ノブ位置

IWS-82V2・82VF2の
高さ調整ノブ位置

IWS-10Fの
高さ調整ノブ位置

〔16：10で映像を投影するとき〕

- ・ IWS-72V2、72VF2 は上から3つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ IWS-82V2、82VF2 は上から3つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ IWS-10F は上から2つ目の穴に高さ調整ノブを差し込みます。
- ・ 最上段と2つ目の穴の間は少し間隔が空いています。



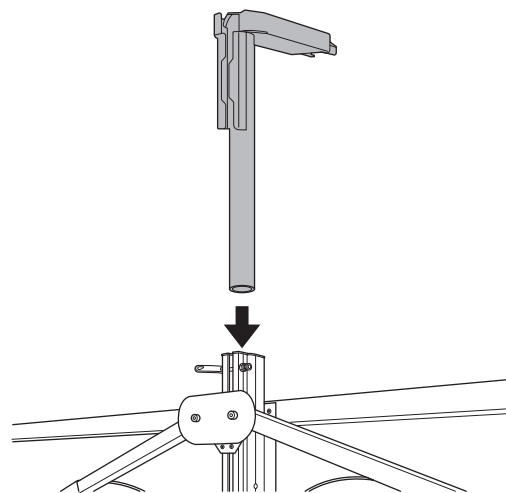
IWS-72V2・72VF2の
高さ調整ノブ位置

IWS-82V2・82VF2の
高さ調整ノブ位置

IWS-10Fの
高さ調整ノブ位置

2. PJ アームを本体に差し込みます。

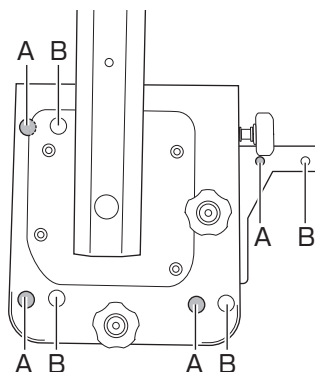
- ・PJ ハンガーの差し込み口が正面を向くようにセットしてください。



PJ ハンガーを取り付ける

PJ ハンガーを取り付ける前に…

WUXGA プロジェクターの取り付けに使用するPJ ハンガーの取り付け穴は、右記イラストのA 位置の4か所です。取り付け穴が誤っていると、投影画面の調整に影響を及ぼします。正しく取り付けてください。

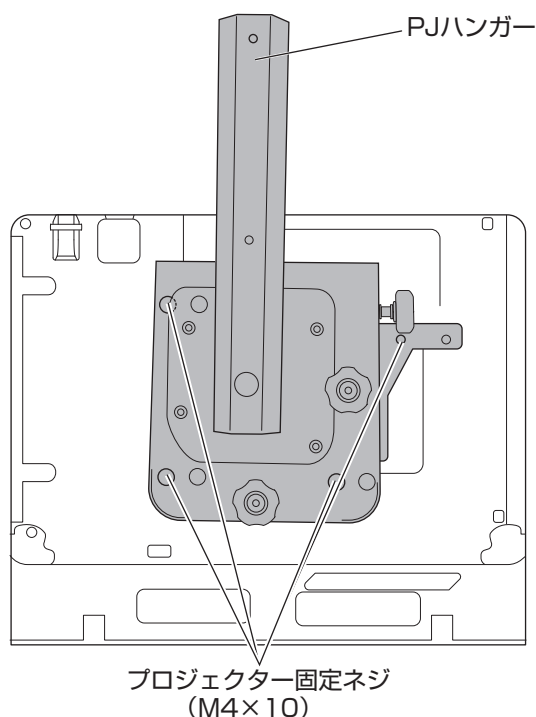


1. PJ ハンガーをイラストのようにセットします。プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、4か所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

④ プロジェクター固定ネジ(M4 × 10 セムス P=3) × 4個使用

- ・ プロジェクター本体や、作業台にキズが付かないよう注意してください。
- ・ 固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認してください。
- ・ PJ ハンガーを分解しないでください。
- ・ 先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

※ プロジェクター固定ネジのネジ穴には多少あそびがあるため、PJ ハンガーとプロジェクターが直角になるように取り付けてください。

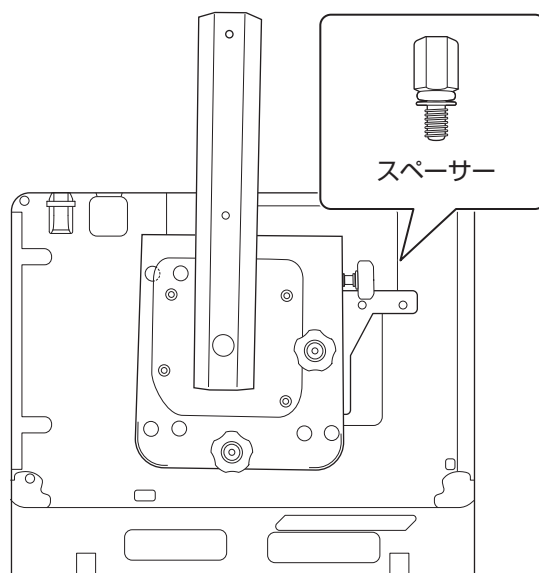


画像位置を上下に調整するときは…

PJハンガーとプロジェクターの間に、スペーサーを4か所取り付けてください。

⑥ スペーサー×4個使用

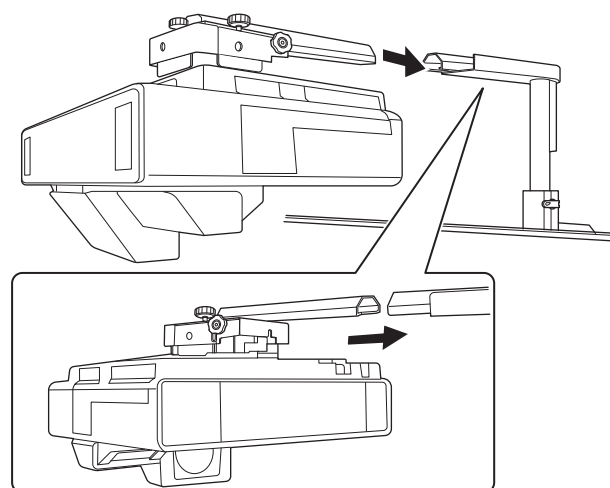
※スペーサー使用の有無については、画像微調整チャート（16 ページ）を確認してください。



PJハンガーをPJアームに取り付ける

1. プロジェクターを取り付けたPJハンガーをPJアームに差し込みます。

・ プロジェクターの前後を確認してください。

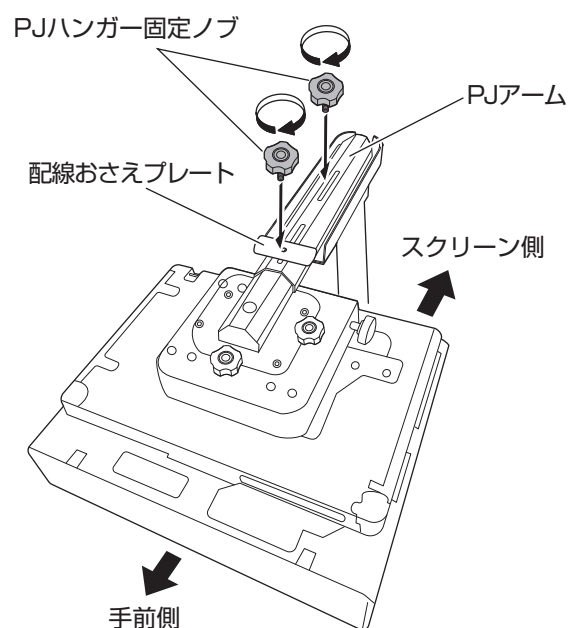


2. PJアームのネジ穴に、PJハンガー固定ノブを差し込んで締めます。

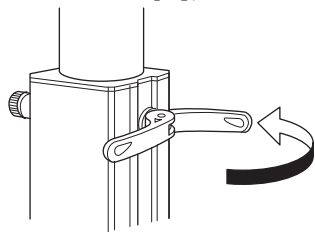
⑤ PJハンガー固定ノブ×2個使用

・ 配線おさえプレートを共締めしてください。

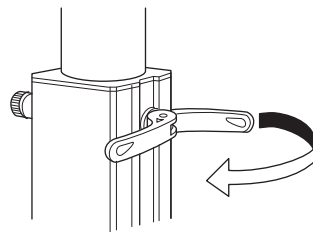
③ 配線おさえプレート×1個使用



PJ アーム固定レバーを緩める／締める



PJ アーム固定レバーを起こして緩める

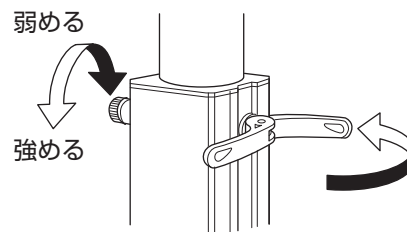


PJ アーム固定レバーを倒して締める

PJ アームの固定力が弱いとき…

PJ アーム固定レバーを起こした状態で、ナットをイラストの向きに廻して固定力を調整してください。

※ナットの締めすぎにご注意ください。レバー破損の原因となります。



投影画面を調整する

プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影し画面を調整します。プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

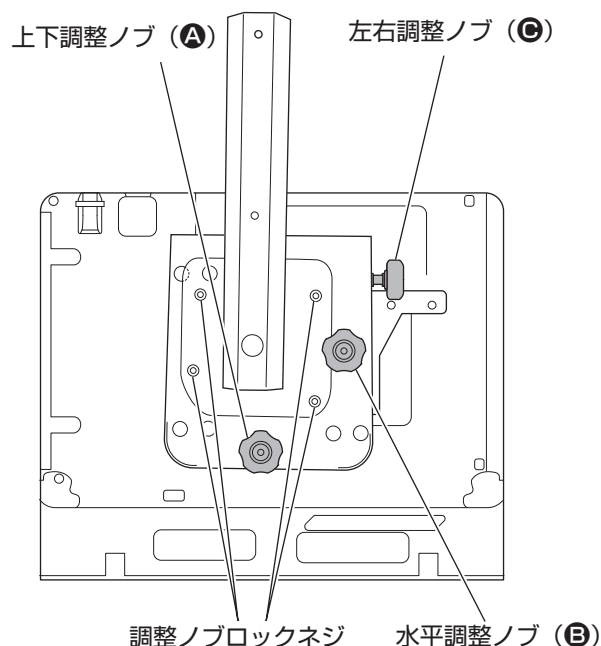
参照 詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

注記 画面を調整する前に、プロジェクターを左右に振らないでください。プロジェクターとスクリーンボードが接触し、破損の原因になります。

投影画面の調整には、解像度に影響が出る可能性がありますのでプロジェクターのデジタル補正機能を極力使用しないことをおすすめします。

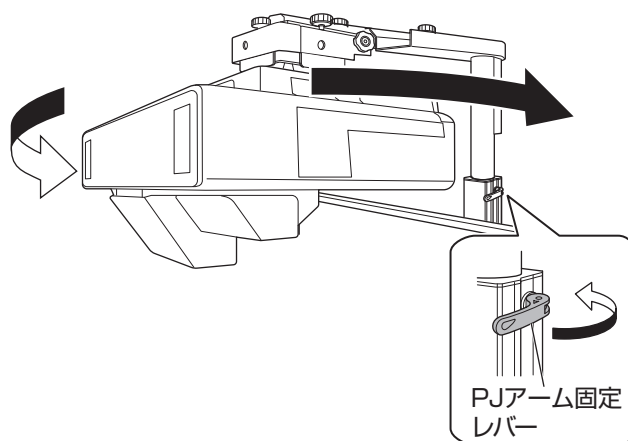
調整前の準備：画像を投影する

1. プロジェクターの電源を ON にします。
2. 画像を投影します。
3. 調整ノブロックネジ4本を緩めます。
 - ・調整ノブロックネジは、手で回せる程度まで緩めてください。



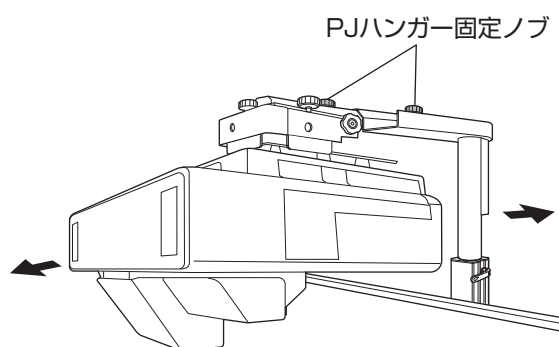
プロジェクター位置の調整（左右）

1. PJ アーム固定レバーを緩め、PJ アームをスクリーンに対して水平方向に動かしてプロジェクターがスクリーンに対して 90 度の位置になるよう調整します。
2. PJ アーム固定レバーを締めます。
 - ・ PJ アーム固定レバーを締めるときは、PJ アームが回転しないよう手で押さえてください。



プロジェクター位置の調整（前後）

1. PJ ハンガー固定ノブを緩め、PJ ハンガーを前後にスライドさせてプロジェクターと投影画面の距離を調整します。
2. PJ アームのスリットの中心付近に合わせて PJ ハンガー固定ノブを締めます。



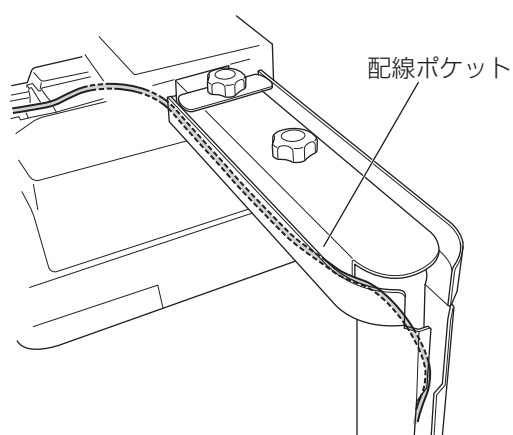
プロジェクター位置を固定する

1. 調整ノブロックネジを締めます。

ケーブルを整理する

1. ケーブルは、PJ アームの配線ポケットにはわせて整理します。

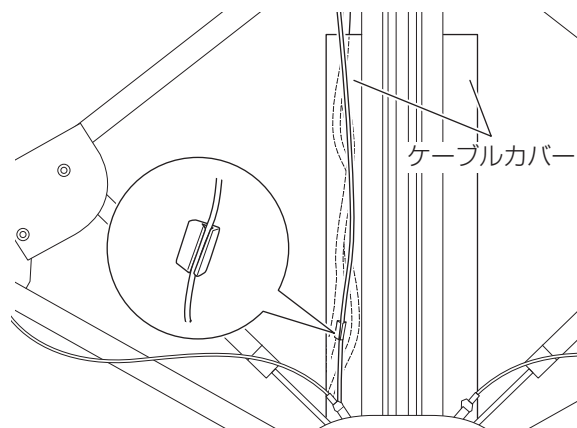
◆注記 パンタグラフにケーブルが干渉しないように整理してください。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。



〔ETG8-2/ETG7-6のみ〕

2. スクリーンボード背面のケーブルカバーのネジ2本を外し、各ケーブルを収納します。
3. ケーブルカバーのクリップに操作ワイヤーを通し、ネジを取り付けます。

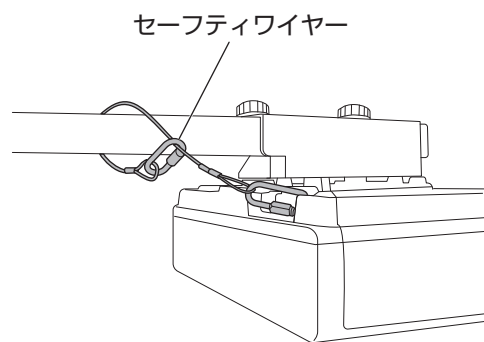
◆**注記** ケーブルカバー内には無理にケーブルを収納しないでください。スクリーンボード背面が押され、投影画面がゆがむ原因となります。



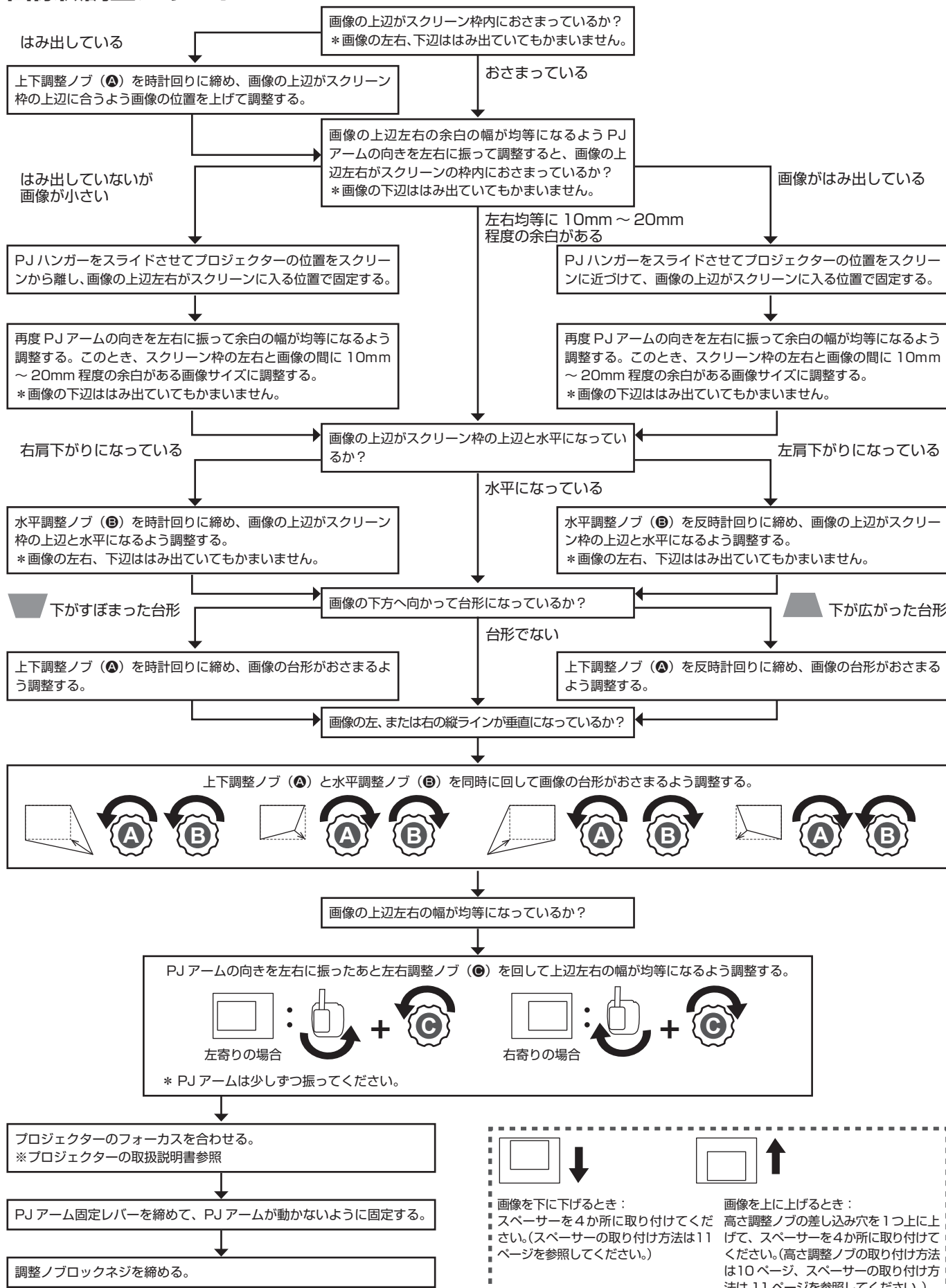
※IWS-ETG10-2 は、付属品のケーブルホルダーを使用してケーブルを整理してください。

セーフティワイヤーを取り付ける

1. セーフティワイヤーを取り付けるときは、PJ アームに巻き付けて固定します。



画像微調整チャート



製造元・問い合わせ先

泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課 〒 141-0021 東京都品川区上大崎三丁目 1 番 1 号 JR 東急目黒ビル 15F TEL : (03) 5719-7482